

楽しみながら幅広く

フ ジやアジサイの中でにつこり笑う埴輪。広報ふじおかに隔月で掲載している「地域おこし協力隊通信」のタイトルイラストの制作を担当した佐藤さんは、「緑のふるさと協力隊」として神流町に住み始め、2年前に鬼石地区に移住しました。

タイトルイラストには、ぱっと目に止まるような藤岡ならではのモチーフやキャラクターを配置し、藤岡の魅力が伝わるよう、協力隊員と相談しながら形にしていたそうです。

「小さい頃からキャラクターや世界観を作り出すのが好きだった」と言い、

普段は主にアクリル絵の具で手書きのイラストを描いています。手書きの魅力は「温かみがあり、絵にじっくり向き合う時間があるところ」だと話します。

佐藤さんは、鬼石産のユズを使用したジュースも仲間と共に発案し、鬼石地区を中心に販売しました。「今後は鬼石にちなんで、鬼を使ったキャラクターを作りたい。鬼石を知ってもらいたく、きっかけとなれたらうれしいです」と話す佐藤さん。「楽しみながら幅広く活動する中で、地元の人を使って、地元の人に愛される物を作っていた」と展望を語ってくれました。



本紙掲載「地域おこし協力隊通信」のタイトルイラストを制作

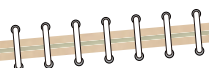
さとう はるか
佐藤 晴香さん(三波川)

Profile

1987年静岡県下田市生まれ。市内の農業法人で働く傍ら、制作活動を行う。今後も市内などで展示会を開催予定。「地域おこし協力隊通信」は本号9ページ。

知って得する♪

耳より情報



全国を旅するチョウ

藤岡市では9月下旬から10月上旬にかけて、世界遺産である高山社跡にフジバカマの花が咲き、アサギマダラという1,000km以上もの距離を旅するチョウが飛来します。

羽根を彩る「浅葱色」と呼ばれるごく薄い藍色は、かつて高山社で養蚕の技術を学ぶ学生たちが着用していた学生服の色でした。

皆さんの身近な花々にもアサギマダラが訪れるかもしれませんので、周りを飛ぶチョウにも目を向けてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)

